

○詔書

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ皇祚ヲ踐メル大日本國皇帝ハ忠實
 勇武ナル汝有衆ニ示ス
 朕茲ニ獨逸國ニ對シテ戰ヲ宣ス朕カ陸海軍ハ宜ク力ヲ極メ
 テ戰鬪ノ事ニ從フヘク朕カ百僚有司ハ宜ク職務ニ率循シテ
 軍國ノ目的ヲ達スルニ勵ムヘシ凡ソ國際條規ノ範圍ニ於テ
 一切ノ手段ヲ盡シ必ス遺算ナカラムコトヲ期セヨ
 朕ハ深ク現時歐洲戰亂ノ殃禍ヲ憂ヒ專ラ局外中立ヲ恪守シ
 以テ東洋ノ平和ヲ保持スルヲ念トセリ此ノ時ニ方リ獨逸國
 ノ行動ハ遂ニ朕ノ同盟國タル大不列顛國ヲシテ戰端ヲ開ク
 ノ已ムナキニ至ラシメ其ノ租借地タル膠州灣ニ於テモ亦日
 夜戰備ヲ修メ其ノ艦艇等ニ東亞ノ海洋ニ出沒シテ帝國及與
 國ノ通商貿易爲ニ威壓ヲ受ケ極東ノ平和ハ正ニ危殆ニ瀕セ
 リ是ニ於テ朕ノ政府ト大不列顛國皇帝陛下ノ政府トハ相互
 隔意ナキ協議ヲ遂テ兩國政府ハ同盟協約ノ豫期セル全般ノ
 利益ヲ防護スルカ爲必要ナル措置ヲ執ルニ一致シタリ朕ハ
 此ノ目的ヲ達セムトスルニ當リ尙勞メテ平和ノ手段ヲ悉サ
 ムコトヲ欲シ先ツ朕ノ政府ヲシテ誠意ヲ以テ獨逸帝國政府
 ニ勸告スル所アラシメタリ然レトモ所定ノ期日ニ及フモ朕
 ノ政府ハ終ニ其ノ應諾ノ回牒ヲ得ルニ至ラス
 朕皇祚ヲ踐テ未タ幾クナラス且今尙皇妣ノ喪ニ居レリ恆ニ

平和ニ眷々タルヲ以テシテ而カモ竟ニ戰ヲ宜スルノ已ムヲ
 得サルニ至ル朕深ク之ヲ憾トス
 朕ハ汝有衆ノ忠實勇武ニ倚賴シ速ニ平和ヲ克復シ以テ帝國
 ノ光榮ヲ宣揚セムコトヲ期ス

御名 御璽

大正三年八月二十三日

- | | |
|------------------|------------------|
| 內閣總理大臣兼 農商務大臣 | 伯爵大隈重信 |
| 外務大臣 | 子爵大浦兼武 男爵加藤高明 |
| 陸軍大臣 | 岡市之助 |
| 海軍大臣 | 八代六郎 |
| 大藏大臣 | 若槻禮次郎 |
| 文部大臣 | 若槻禮次郎 |
| 司法大臣 | 尾崎行雄 |
| 逓信大臣 | 武富時敏 |